

第29回 日向市都市計画審議会議事録

1. 日 時 : 令和3年2月25日(木) 13:30 ~ 15:00
場 所 : 日向商工会議所

2. 出席者

第1号委員

黒木正一、股野満男、黒木幸市

第2号委員

小林隆洋

第3号委員

川内学(代理)、森英彦、否笠友紀

第5号委員

黒木千尋、西村一、橋口浩美、石谷香奈美

日向市建設部長 古谷政幸

日向市建設部都市政策課 土谷和利、松葉進一、野崎暖生、黒木尚子

3. 議案の内容

日向市立地適正化計画(案)

(都市再生特別措置法第81条第22項の規定による意見聴取)

4. 審議の経過及び結果

経過: 議事録のとおり

結果: 議事録のとおり

議事録署名

.....印

.....印

.....印

事務局	<p>1. 開会</p> <p>それでは、ただ今より「第29回日向市都市計画審議会」を開催させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして有難うございます。</p> <p>お手元にお配りしております次第に沿って、会を進行させていただきます。</p> <p>なお、本日の会議は、コロナ対策としまして、窓を開けて開催させていただきますので、ご了承ください。</p>
事務局	<p>2. 資格確認</p> <p>続きまして、資格確認を行います。</p> <p>本日の出席委員は11名で、審議会条例第6条第3項に規定する委員の過半数を満たしており、本日の審議会は成立することをご報告いたします。</p>
事務局 議長	<p>3. 議長挨拶</p> <p>続きまして、黒木議長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(議長挨拶)</p>
事務局	<p>それでは、これからの議事進行につきましては、審議会条例に基づき、黒木会長に、議長をお願いいたします。</p> <p>本日の都市計画審議会にお諮りする議題につきましては、本市が策定中であり「日向市立地適正化計画」について、都市再生特別措置法に基づき都市計画審議会のご意見をお聴きするものとなっております。このあと、詳しくご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>4. 議題（意見照会）</p> <p>議事に入ります前に、本日の議事録署名委員として、「小林(こばやし) 隆洋(たかひろ)委員」と「橋口(はしぐち) 浩美(ひろみ)委員」を選任したいと思いますが、ご異議ありませんか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
議長	<p>それでは、「小林(こばやし)委員」、「橋口(はしぐち) 委員」、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議題に移りたいと思います。</p> <p>(1) これまでの取組について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	説明（事務局）
議長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。
委員	（意見なし）
議長	次の（２）パブリックコメントについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	説明（事務局）
議長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。
議長	市街化区域の７６％が津波浸水想定区域ということで、日頃から個人の避難に対する意識が大事だと思う。
委員	津波避難タワーや津波避難ビル等の機能が十分に確保できているか心配である。特に、階段幅が狭い、勾配が急、など高齢者の避難を見据えた場合に、心配な点がある。今後、それらも含めた建築の指導を行うことによって、より良くなってくると思う。
事務局	防災指針の中で、避難所の充実や津波避難ビルの指定推進を図ることとしています。今後、関連する国土強靱化地域計画や地域防災計画と連携を図り、より安全なまちづくりに努めたいと考えています。
議長	次の（３）日向市立地適正化計画（案）について、事務局より説明をお願いします。
事務局	説明（事務局）
議長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。
委員	持続可能な開発目標SDGSについて、日向市総合計画と整合をとり、目標を記載してはどうか。 また、財政状況について、より具体的な記載としてはどうか。
事務局	策定委員会の会長に伝えて、検討します。

委員	<p>P 137 地区防災計画を策定済みの地区数について、策定が必要な地区の母数はいくらになるのか。</p> <p>P 137 津波災害に対する早期避難率について、県民意識調査結果における早期避難率 56%は日向市のみを対象としたものか。</p>
事務局	<p>母数は市内の 98 地区です。</p> <p>早期避難率 56%は県内沿岸 10 市町における津波被害が想定される区域内の方を対象に調査した結果です。日向市国土強靱化地域計画において早期避難率の向上を目標に掲げていることから、本計画でも目標値とすることで整合を図っています。</p>
委員	<p>様々な課題に対して、一人一人が前向きに真剣に取り組まないと、日向市が衰退すると思っています。</p> <p>日頃、子育て支援に携わる中で、県外から来られた方達から、日向市が「子育てしやすいまち」との声を多く聞いています。今後も将来を担う子ども達の子育て支援に尽力していくことが必要であると考えています。</p>
委員	<p>鉄道高架について、大王谷から平岩あたりまで延長し、高架部分を津波避難の場所としてはどうかと常々思っています。</p>
議長	<p>鉄道高架の実施にあたっては、施工当時、様々な基準をクリアしたうえで、鉄道高架が可能な最大延長を県に施工していただいた経緯があることから、ご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>指定された避難場所までのルート上において、数年前にがけ崩れが発生した危険な箇所があり、実際には避難が困難な場合がある。わかりやすく安全なルートを指定するなど、配慮をお願いしたい。</p>
事務局	<p>避難場所の整備が完了している中で、今後は、自助共助の観点から避難ルート上の脆弱な部分などの情報共有や避難訓練の実施を行いながら、関係部局と連携して安全な避難ルートの情報発信に努めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>県としても、近年の災害の激甚化に対して、新たな取組として流域治水を推進しており、本計画においても流域治水の推進が盛り込まれていることから、よい計画だと思う。</p> <p>早期避難率については、日向市を対象に意識調査を行い、将来的に 100%になるように努めていただきたいと思います。</p>

委員	津波避難ビルに限らず、高層ビルを避難ビルに指定するなど、より一層のソフト対策の推進が望まれる。
議長	次に（４）今後の予定について、事務局の説明をお願いします。
事務局	説明（事務局）
議長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。 (質問がないようでしたら、) これまでの委員からのご提言については、事務局を通じて策定委員会に申し添えることとしますが、日向市立地適正化計画（案）については、「特段の意見なし」ということで、決定してよろしいでしょうか。
委員	(異議なし)
議長	それでは、計画（案）については、「特段の意見なし」と決定いたします。
議長	5. その他 それでは、その他に移ります。
議長	財政状況が厳しい中で、稼ぐまちづくりが必要だと思います。 本日審議した日向市立地適正化計画は、第2向日向市総合計画や日向市都市計画マスタープランを上位計画とし、都市計画区域内のコンパクト+ネットワークの実現を目指すものとして策定されたものです。 持続可能な開発目標SDGS「住み続けられるまちづくり」の目標達成を具現化するためには、安心安全な経済成長の施策の一つとして、経済社会の強靱化が重要であると考えます。本市では、重要港湾細島港においてコンテナターミナルの活用、ガントリークレーン、水深13mの岸壁リバース、また、令和4年度から事業着手が予定されているRoRo船の専用岸壁、近い将来を見据えた水深15mの岸壁整備、など国県市の尽力により進められています。 また、陸路においては、東九州自動車道が片側1車で開通するなど、国土交通省やNEXCOによる計画的な整備が進んでいるところであり、工業港湾都市として海路と陸路の恵まれた日向市となっています。 そこで提案なのですが、南海トラフ地震による15m程度の津波に対応できる、安心安全な強靱化工業団地を梶木の源氏山に計画できないか、と考えています。ただし、当該箇所は市街化調整区域であることから、来年度見直し予定である都市計画区域マスタープランの中で、強靱化を目的とした工業専用地域

	<p>として検討していただき、住み続けられるまちを具現化するための、雇用の場、設備投資、財源確保を考慮した、攻める都市計画、をお願いしたいと考えています。</p> <p>日向市は昭和39年に日向延岡新産業都市になり、昭和45年より都市計画が始まり、土地区画整理事業や、細島港の整備など、工業港湾都市として発展してきました。</p> <p>本市は全市域の5%である市街化区域に人口の80%が居住していますが、今後、人口減少が予測されるなかで10年～20年後を見据えた立地適正化計画を策定することになり、皆様のご協力をいただいたところです。</p> <p>この人口減少を迎えるなかで、市外へ転出した若者が戻ってくる、など若者が定着するための働く場の確保は重要だと考えています。</p> <p>そのようななかで、源氏山については、細島港に隣接し高台であることから、津波の影響も少ない土地であると認識しています。</p> <p>ただし、市街化調整区域であることから、今後、都市計画法の規制や、関係機関との協議も踏まえ、検討する必要があると考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>日向市は昭和39年に日向延岡新産業都市になり、昭和45年より都市計画が始まり、土地区画整理事業や、細島港の整備など、工業港湾都市として発展してきました。</p> <p>本市は全市域の5%である市街化区域に人口の80%が居住していますが、今後、人口減少が予測されるなかで10年～20年後を見据えた立地適正化計画を策定することになり、皆様のご協力をいただいたところです。</p> <p>この人口減少を迎えるなかで、市外へ転出した若者が戻ってくる、など若者が定着するための働く場の確保は重要だと考えています。</p> <p>そのようななかで、源氏山については、細島港に隣接し高台であることから、津波の影響も少ない土地であると認識しています。</p> <p>ただし、市街化調整区域であることから、今後、都市計画法の規制や、関係機関との協議も踏まえ、検討する必要があると考えています。</p>
<p>議長</p>	<p>それでは、本日より予定していた議題を全て終了しましたので、会の進行を事務局にお返しします。円滑な議事運営にご協力いただきありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>6. 閉会</p> <p>それでは、以上もちまして、第29回日向市都市計画審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>